



森の動物たちが

「友情」を表現

多羅尾小学校のオペレッタが11月3日、同小学校で上演されました。

このオペレッタは、同校の特色ある取り組みとして今年で25年目を迎え、子どもたちは例年、4月に脚本づくりからスタートし、練習を重ねます。

今年の作品は童話「ともだちや」で、寂しがりやの森のキツネが商売「ともだちや」を始めたことをきっかけに森のさまざまな動物と交流しながら、本当の友情を育んでいくという内容で、全校児童12名が歌やダンスなどを披露し、本当の友だちとは何かを見事に表現しました。

このオペレッタは11月10日に信楽ホールでも上演され、今年も各ステージで小さな主役たちが大きな感動を呼びました。

多羅尾小学校創作オペレッタ「ともだちや」



▲歌で心をひとつに

伝統遊びで国際交流

伴谷東小学校総合学習

愛荘町にあるブラジル人学校「コレジオ・サンタナ学園」の皆さんが11月6日、伴谷東小学校を訪ね、言葉と国を越えた交流会が催されました。

交流会は国際交流することを目的に実施されたもので、伴谷東小の4年生約80人が、けん玉や羽根つきなどの日本伝統の遊びを、ブースごとにわかれてブラジル人の子どもたちと楽しみました。

言葉は通じないものの、子ども同士遊びを通してつながら笑顔はみな同じで、身振り手振りで遊びを楽しんだ両校の子どもたちには忘れられない思い出となったようです。



▲「だるま落とし」はこうして遊んで

秋の味覚を楽しんで

貴生川認定こども園 焼きも会

今年開園した貴生川認定こども園で11月6日、焼きも会が地元老人クラブの協力を得て催され、3歳以上の園児約250人が参加しました。サツマイモは同園の畑に5月末、老人クラブの皆さんと園児たちが苗を植え付けたものです。

子どもたちは、老人クラブの皆さんと一緒にサツマイモを収穫し、給食の時間においしく焼き上がるようおまじないの言葉をかけていました。

給食の時間になり焼きあがったいもが部屋に届けられ、香ばしい匂いが部屋いっぱい広がる、歓声をあげながら、秋の味覚をほおぼっていました。



▲自分たちで焼いたおいもはおいしいね

テニスを通じて思いやりの心を

朝宮小学校テニス教室

アトランタ五輪選手で元プロテニスプレイヤーの長塚京子さんによるテニス教室が11月13日、朝宮小学校で行われ全校児童30名が参加しました。

初めてラケットを手にする児童がほとんどでしたが、ラケットの持ち方から打ち方まで丁寧に教わり、最後はミニゲームを楽しみました。授業の最後には、長塚さんから子どもたち一人ひとりにサインボールがプレゼントされ、忘れられない思い出となりました。

授業を終えた長塚さんは「テニスを通じた対戦相手やペアとのやりとりの中で、思いやりの心を養ってほしいなと思っています。」と話しました。



子どもたちにテニスの基本を教える長塚さん

クラシックカーの祭典

RALLY NIPPON 2012

クラシックカー 80台が京都から東京の間をつなぐ「ラリーニッポン2012」が11月3日開催され、経路地となった市役所水口庁舎周辺でも歓迎イベントが催されました。

会場では、B級グルメ市やステージイベントも同時開催され、多くの来客で賑わいました。

往年の名車たちが道路を埋め尽くすと、道路脇の安全地帯には人だかりができ、中でも今年参加された俳優の唐沢寿明さんや、雅楽師の東儀秀樹さんなど有名人が到着するとひととき大きな歓声があがっていました。



▲歓声に手をあげて応える東儀さん

「これだけの名車が勢ぞろいして、公道を走るなんて夢のような光景ですね。」と、ファンの1人は目を輝かせていました。



69 芸術家 かま え かず み 鎌江 一美さん

作品をとおして多くの人たちとコミュニケーションを

障害者支援施設「やまなみ工房」で創作活動に打ち込む鎌江さんは、平成3年から陶芸班で活動を始め、粘土作品を主に作られています。その作品は、正規に芸術を学んでいない者により生み出された芸術「アール・ブリュット」として、昨年滋賀県主催で開催された「びかつtoアート展」で大賞を受けるなど高い評価を受けています。

工房の鎌江さんを訪ねると、作品に向かって一心に粘土の玉を張り付ける姿がありました。その作業は、無数の小さな粘土の玉を丁寧に張り付けていく、根気を要する作業です。しかし、鎌江さんは集中力を切らさず、大きな作品では1か月以上も作業に没頭します。

鎌江さんは、作品づくりで最も楽しいことは「出来上がった作品を多くの人に見てもらうことです。」と話します。彼女は、作品を介して多くの人たちとコミュニケーションをとるようになりました。彼女は、自己表現のため「これからもずっと作品づくりを続けます。」と話します。

鎌江さんの作品は2010年、パリ市立アル・サン・ピエール美術館で開催された「アール・ブリュット・ジャポネ展」に出展されるなど、世界の舞台でも高い評価を受けています。長い時間をかけてできあがったものをみんなに見てもらう「一番うれしいとき」のために、今日も細かな粘土に愛情を注ぎ込みます。



▲鎌江さんの作品

※鎌江さんの作品は「やまなみ工房 Gallery gufufu」の常設展と、湖南市「じゅらくの里福祉パーク館」で12月24日まで開催中のアール・ブリュット展でご覧いただけます。